


令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立本庄特別支援学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	中学部3年生 13名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・パラリンピック種目であるボッチャに触れることで、パラリンピックへの興味関心を高める。 ・ボッチャと類似しているカローリングを行うことで、スポーツに親しみ、仲間を意識することやスポーツに親しむ心を育成する。
5 取組内容	(1) 開催日 令和3年1月14日(木)及び15日(金) 事前学習として「カローリング」を行った。 的に向かってカローリングを投げる競技はボッチャと類似しており、生徒たちも笑顔を多く見せながら楽しむことができた。 

	<p>カローリングを体験した翌日にボッチャ教室を行った。 本来であれば佐藤駿選手とCAC Holdingsの皆さんをお招きしての活動であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来校はなくなり、本校生徒だけで取り組んだ。 ボッチャ教室の最後に佐藤選手に向けた応援メッセージを撮影しお渡ししたところ、佐藤選手からもメッセージビデオが届き、CAC Holdingsさんからは100セットの除菌シートをいただいた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カローリングやボッチャを通じて、スポーツに対する関心が高まった。 ・アンケートを行った結果、パラリンピックへの関心が高まったことが分かった。 ・ビデオメッセージをいただいたことにより、佐藤選手を再認識し、「パラリンピック・ボッチャ・佐藤選手」の関係が理解でき、つながりを意識できた生徒が多かった。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は新型コロナウイルスの関係により、講師の方々にはお越しいただけなかったが、ビデオメッセージを通して近況の報告や応援メッセージ等を送りあうことができた。 ・ボッチャに類似したスポーツに取り組むことで、今までのボッチャの経験も生き、また新たなスポーツの楽しさを感じることができた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本代表候補選手を招くため、合宿や大会等の日程を配慮し、実施日を決定していく。 ・新型コロナウイルスの関係により予定通り事業が実施できないことも予想されるので、第二案等も考えておく必要がある。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はボッチャとカローリングの種目に取り組んだが、来年度は様々なパラスポーツに取り組み、東京オリンピック・パラリンピックへの興味や関心を深めていく。 ・学校の授業だけで行うのではなく、地域の方々にもボッチャやカローリングに触れていただき、地域の方と生徒と一緒に活動できる場を設ける。